

泊3号炉 耐震設計方針説明スケジュール

ID	審査項目	通しNo.	内容	作業項目における作業順序	2021年度				2022年度												2023年度													
					3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月										
			耐震設計方針					①		②	★																							
			集計結果							①	①																							
			耐津波設計方針 取水性影響							①	①			①②	★																			
			防潮堤					①①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★			
1	基準地震動の策定	基準地震動の策定	策定した基準地震動の妥当性																															
2			敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による基準地震動の設定	1																														
3			震源を特定せず策定する地震動による基準地震動の設定	1																														
4			耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る審査実績のない設計条件・評価手法の採用など																															
5	プラント側主要な説明項目	耐震設計方針	地下水位の設定方針																															
6			地盤の液化化の評価方針																															
7			既工認との手法の整理(耐震設計方針含む)																															
8			本文	耐震設計方針																														
9			別添-1	設計用地震力																														
10			別添-2	動的機能維持の評価																														
11			別添-3	弾性設計用地震動・静的地震動による評価																														
12			別添-4	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討について																														
13			別添-5	水平2方向及び鉛直方向の地震力の適切な組合せに関する影響評価方針																														
14			別添-6	屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定の考え方																														
15			別添-7	主要建屋の図面集																														
16			別添-8	入力地震動について																														
17			別紙-1	既工認との手法の相違点の整理(設置許可変更申請段階での整理)																														
18			別紙-2	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討																														
19			別紙-3	水平2方向及び鉛直方向の地震力の適切な組合せに関する影響評価方針																														
20			別紙-4	規格適用範囲内の動的機能維持の評価																														
21			別紙-5	地震時における燃料被覆管の閉じ込め機能の維持について																														
22			別紙-6	土木構造物の解析手法及び解析モデルの精緻化について																														
23			別紙-7	後施工せん断補強筋による耐震補強について																														
24			別紙-8	屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定について																														
25			別紙-9	地盤の液化化の評価方針について																														
26			別紙-10	地下水位設定方針について																														
27			別紙-11	地下水排水設備について																														

【スケジュールの作成方法について】

- スケジュールの上段では審査会合で提示するスケジュールから、耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る内容について抽出しております。
- それを基にスケジュールの下段にて前々タスクとなる事項との関連を考慮して資料提出、ヒアリング、審査会合の希望時期をプロットしたうえで、ヒアリングや審査会合が輻輳する時期を極力少なくするように配置しております。
- その中でもクリティカルパスに係る箇所およびサブクリティカルとなり得る箇所については背景色を変えております。加えてクリティカルパスとなる箇所については下部に矢印も表記しております。
- ヒアリングや審査会合の輻輳状況を確認するため、最上段に耐震設計方針と耐津波設計方針に係るヒアリング及び審査会合の状況がわかるように各々を集計した結果を示しております。
- 上記の検討結果を踏まえて、スケジュール上段のバーを更新し、更新前のバーは灰色の影で示しております。

初回ヒアリングコメントの反映。クリティカルパスとならない範囲で、2回目ヒアリング及び審査会合時期を先送り。

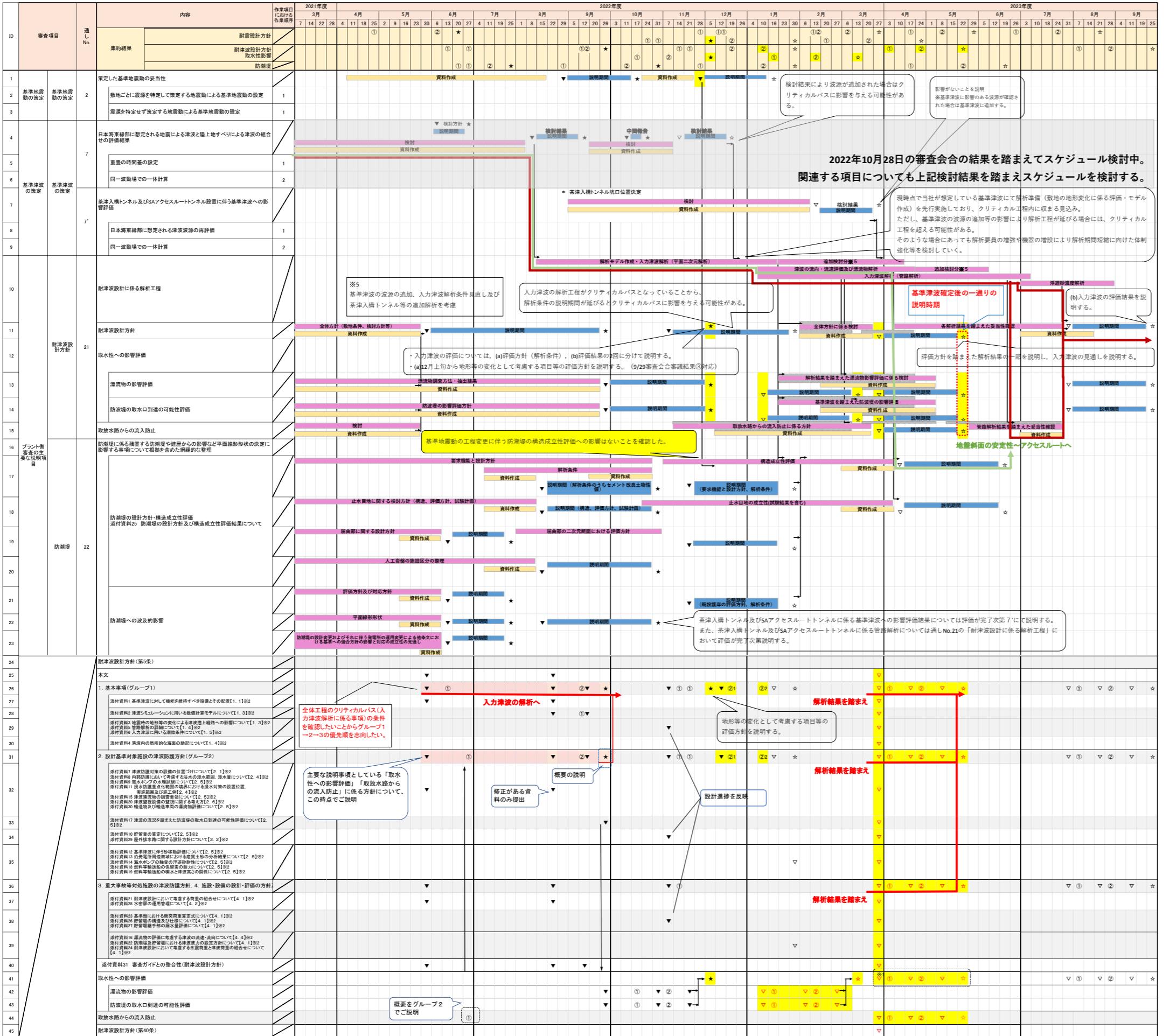
基準地震動確定後の耐震設計方針について一通りのご説明をする。

これ以上、耐震設計方針に係る審査会合が遅延すると本件が全体スケジュールのクリティカルパスとなる。
青枠内の項目については「既工認との手法の相違点の整理」を主軸とした耐震設計方針の審査会合で説明できるようヒアリング時期を設定することを志向したい。

凡例
 □：資料提出(実績は黒色で塗りつぶし)
 ☆：審査会合希望時期(実績は黒色で塗りつぶし)
 ■：審査期間(ヒアリング～審査会合)
 ハイアリングでの事実確認を踏まえた資料修正期間も含む
 ▨：検討期間
 ▶：タスクの関連線
 →：クリティカルパス(管路解析にかかる事項)
 ➔：クリティカルパス(防潮堤構造成立性にかかる事項)
 ▨：改訂前のスケジュールで示していた審査期間等

泊3号炉 耐津波設計方針説明スケジュール

2022年12月22日
北海道電力株式会社



*1 津波物災害実験については方針を説明し、衝突荷重の算定は工事計画認可段階

*2 □ 内は別添付目次を示す。

泊3号炉 耐津波設計方針説明スケジュール

2022年12月22日
北海道電力株式会社

2022年10月28日の審査会合の結果を踏まえてスケジュール検討中。

関連する項目についても上記検討結果を踏まえスケジュールを検討する。